



マヤラ・マグリ・V・ダ・グラカ (シニア部門グランプリ) Mayara Magri V. Da Graca © Siggul / Visual Arts Masters

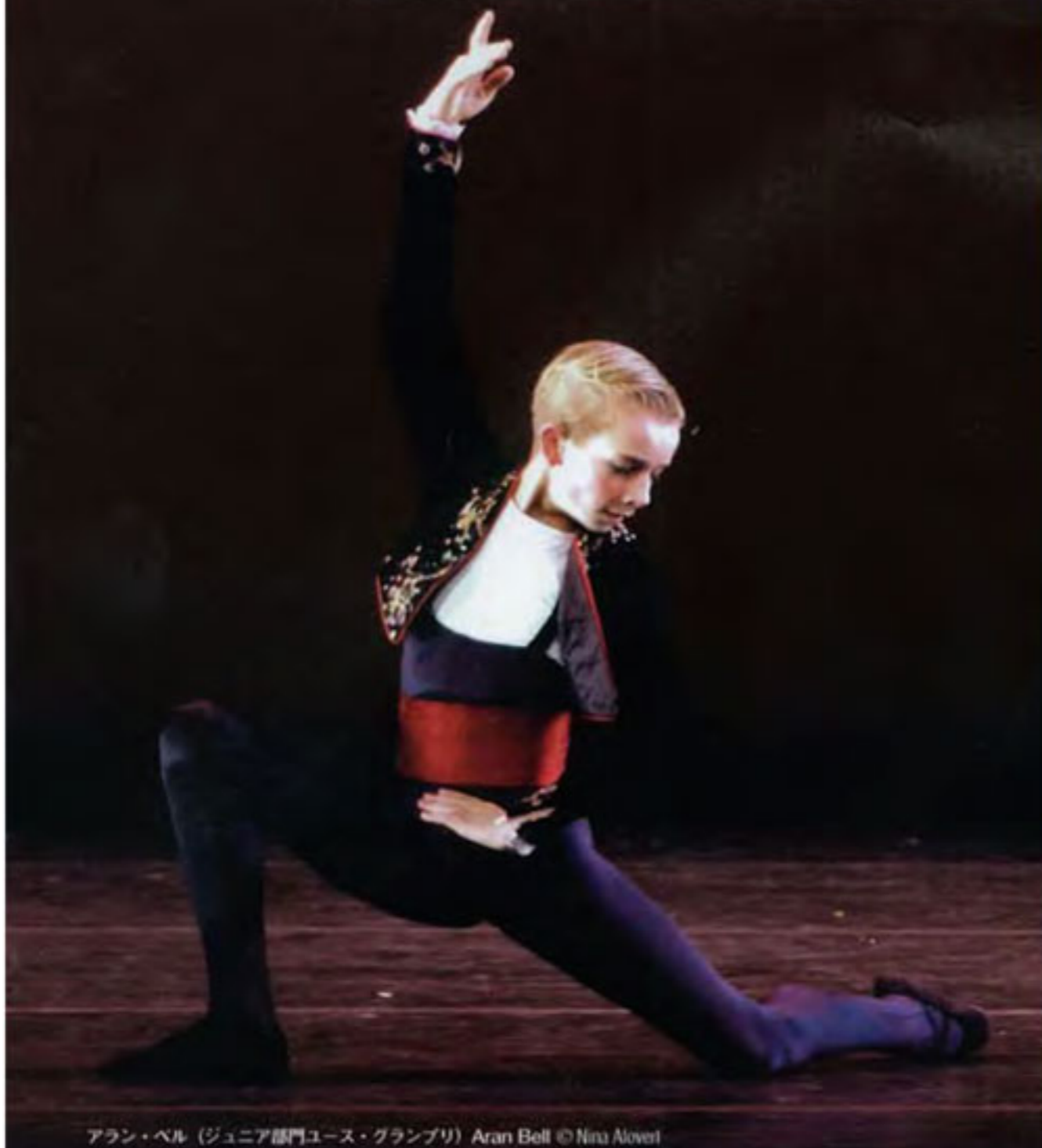
Report ユース・アメリカ・グランプリ2011

若さ、きらめく未来へ

若手ダンサーの登龍門として、世界中から注目されているコンクールがNYで開催！
ガラ公演にはヤンヤン・タン、ワシーリエフらが登場し、華やかな舞台が繰り広げられた



コンクール参加者による「グラン・デフィレ」 Grand Defile © Siggul / Visual Arts Masters



アラン・ベル (ジュニア部門ユース・グランプリ) Aran Bell © Nina Aloveri



田代 穂 (シニア女性金賞) Kozue Tashiro © Erin Bains



福士宙夢 (シニア男性銀賞) Surimu Fukushi © Erin Bains



ジャコモ・ロヴェロ (ジュニア男性金賞) Giacomo Rovero © Erin Bains



左右木茉莉 (プリ・コンペティティブ女性組) Marin Soki © Siggul / Visual Arts Masters



土田明日香 (ダンス・ヨーロッパ芸術賞) Asuka Tsuchida © Erin Bairo

今年で十二回目を迎えたユース・アメリカ・グランプリ(YAGP)のファイナルが、三月十七〜二十三日、ニューヨークで開催された。審査のカテゴリーはシニア(十五〜十九歳)、ジュニア(十二〜十四歳)、プリ・コンペティティブ(九〜十一歳)、アンサンブルの四部門。予選大会が全米十一都市および日本、フランス、ブラジル、パラグアイで行われ、ファイナルには各地の予選通過者に海外応募のビデオ審査合格者を加えた三十カ国二百五十名が参加。シニア部門とジュニア部門は、クラシックとコンテンプルの審査を経て、それぞれ三十三名と四十名が二十一日の最終ラウンドに進出した。

コンクール直前に日本では東日本大震災が発生し、東北地方のバレエ教室も被災。日本から出場する予定だった三十六名のうち、七名の年少少女が参加を断念せざるを得なかった。津波で家が流され、車中の寝泊りを余儀なくされた少年もいたという。YAGP事務局は、震災のためにニューヨークに来られなかった子どもたちにも、予選大会の成績に応じてスカラシップを贈ると発表した。

* ニューヨーク・シティ・センターで行われた最終ラウンドには、例年以上に大勢の観客が詰めかけていた。バレエ関係者だけでなく、一般のバレエ・ファンの方も多し。パリ・オペラ座のエトワール、マチアス・エイマ

Interview



若い層に多くの才能を見出すことができました
ラリッサ・サヴェリエフ
Larissa Savelliev YAGP創立者、芸術監督

—— 今年の審査の感想は？

サヴェリエフ 今年も南米からの参加者のレベルが高かったと思います。ブラジル、アルゼンチン、ベネズエラ、パラグアイ。それに

今年も初めてキューバからも四人の生徒が参加してくれました。また、比較的若い層に才能を感じさせるダンサーが多かったように思

います。昨年は男性ダンサーの活躍が目立ちましたが、今年は十四、十五歳の女性たちに優れた才能が

多く見受けられました。

——「ジヨブ・フェア」のような新しい試みもスタートしました。

サヴェリエフ ええ、コンクール参加者の就職の手助けをするオーディションです。それから、二月

末から三月頭にかけて、「YAGPガラ・ツアー」をアメリカ五都市で

行ったんですよ。十五人の子どもたちが二週間カレドニョやドヴォ

ロヴェンコのようなダンサーと舞台を共にし、同じバスに乗って旅

をする。この経験から学べることは多いと思います。今回初めてパ

リで予選大会を行うことができたのも、大きな出来事でした。ヨー

ロッパ中から三百人以上が集まった。感動的なことに、審査委員長

を務めたエリザベット・プラテル

が子どもたちのためにパリ・オペラ座バレエ学校の校舎を開放してくれました。これはオペラ座始

まって以来のことです。彼女には本当に感謝しています。

—— 日本の生徒たちにアドバイスは？

サヴェリエフ 今年も日本の子どもたちは美しい踊りを見せてくれました。私からアドバイスがある

としたら、コンテンポラリーにも関心を払ってほしいということ

です。日本人はクラシックでは本当に抜きんで美しいのですが、コン

テンポラリーでは何かが欠けている。たとえば、ブラジルの子ども

たちはもっと自由に動いています。日本人はおそらくたんに経験

が足りないだけです。現代のコリオグラファーが純粋なクラシック

を振付けるといふことはありませ

ん。ですから、ダンサーにもコン

テンポラリーの素養が求められています。子どもたちだけでなく、

先生方にも少しコンテンポラリーに注意を向けていただきたい。そ

のためにも来年には日本でコンテンポラリーのワークショップを開

催したいと考えています。

ユース・アメリカ・グランプリ2011 審査結果

3月17~23日/ニューヨーク

コンペティション入賞者

●シニア部門

【グランプリ】

マヤラ・マグリ・V・ダ・グラカ (16歳/ブラジル)

【女性】

金賞 田代梢 (15歳/日本)

銀賞 ハンナ・クーラス (16歳/アメリカ)

銅賞 キム・ミンジョン (16歳/韓国)

【男性】

金賞 ハン・ソンウ (16歳/韓国)

銀賞 福土宙夢 (16歳/日本)

銅賞 ジャオ・ジュンジョン (19歳/アメリカ)

●ジュニア部門

【ユース・グランプリ】

アラン・ベル (12歳/イタリア)

【女性】

金賞 ハンナ・ベティズ (14歳/アメリカ)

銀賞 パウラ・アルベス (14歳/ブラジル)

銅賞 タイラー・ドナテッリ (14歳/アメリカ)

【男性】

金賞 ジャコモ・ロヴェロ (14歳/イタリア)

銀賞 ブレイク・ケスラー (13歳/アメリカ)

銅賞 ジュゼッペ・パウシリオ (14歳/スイス)

●プリ・コンペティティブ部門

【ホープ賞】

グレイス・デイヴィソン (11歳/アメリカ)

【女性】

金賞 ユン・ソフ (11歳/韓国)

銀賞 左右木茉莉 (11歳/日本)

銅賞 イバナ・ブエノ・ガルセス (11歳/メキシコ)

【男性】

金賞 イム・ソンウ (11歳/韓国)

銀賞 ホアン・ミゲル・フェルナンデス (11歳/メキシコ)

銅賞 オーステン・アセヴェド (11歳/アメリカ)

●アンサンブル部門

アンサンブル賞

金賞 ワシントン・バレエ・スクール (『ダスク・フィールズ』)

銀賞 ドミトリー・クレフ・クラシカル・バレエ・アカデミー (『インサイト』)

銅賞 オーランド・バレエ・スクール (『アレグレット・フォー・オール・ピーセス』)

バ・ド・ドゥ賞

金賞 韓国芸術総合学校 (『サタネラ』)

銀賞 ネクスト・ジェネレーション・ユース・バレエ・アット・パティール・コンサヴァトリー (『コッペリア』)

銅賞 オーランド・バレエ・スクール (『エスメラルダ』)

●特別賞

【優秀指導者賞】 ワトモラ・ケイシー

【優秀学校賞】 ネクスト・ジェネレーション・ユース・バレエ・アット・パティール・コンサヴァトリー

【サラ・チェーピン・ランガム・コンテンポラリー・ダンサー賞】 ワン・リー (16歳/中国)

【メアリー・デイ賞】 ナヤラ・ロベス (19歳/アメリカ)

バトリック・フレネット (16歳/アメリカ)

【グリシコ・モデル・サーチ賞】 ローレン・カーフォライト (15歳/アメリカ)

【ダンス・ヨーロッパ芸術賞】 土田明日香 (18歳/日本)

スカラシップ受賞者 (4月10日現在)

【ABTジャクリン・ケネディ・オナシス・スクール】

ブルック・リンフォード (16歳/アメリカ)

【ABTヤング・ダンサーズ】

エリ・グルシカ (11歳/アメリカ)

【ABTサマー・インテンシヴ】

中野伶美 (12歳/日本)

前田紗江 (12歳/日本)

玉川貴文 (13歳/日本)

【オーストラリア・バレエ・スクール】

渡辺与布 (15歳/日本)

中野伶美 (12歳/日本) *短期

奥山京香 (12歳/日本) *短期

前田紗江 (12歳/日本) *短期

【ハリッド・コンサヴァトリー】

ティム・ア・アフシャー (13歳/アメリカ) *サマー・インテンシヴ

ブレーノ・フェレイラ・ルセーナ (13歳/ブラジル)

【ジョフリー・バレエ・アカデミー】

花村壮太 (14歳/日本)

【ジョン・クランコ・スクール】

玉川貴文 (13歳/日本) *短期

【ヒューストン・バレエ・ベン・スティーンソン・アカデミー】

森川礼央 (12歳/日本) *短期

【ヒューストン・バレエ・サマー・インテンシヴ】

タイラー・ドナテッリ (14歳/アメリカ)

【ミュンヘン・バレエ・アカデミー】

アナスタシア・パーティンショウ (16歳/オーストラリア)

奥山京香 (12歳/日本) *短期

【ニュージーランド・スクール・オブ・ダンス】

金子穂 (16歳/日本)

大河内悠伎 (15歳/日本)

土田明日香 (18歳/日本) *短期

【バルッカ・シュレ・ドレスデン】

アニサ・スコット (17歳/アメリカ)

【プリンセス・グレース・アカデミー】

翠川菜 (12歳/日本) *夏季

大河内悠伎 (15歳/日本) *夏季

金原里奈 (12歳/日本)

福土宙夢 (16歳/日本)

【ロック・スクール・フォー・ダンス・エデュケーション】

奥山京香 (12歳/日本)

嘉村菜々美 (12歳/日本)

福土宙夢 (16歳/日本)

左右木茉莉 (11歳/日本) *夏季

【ロイヤル・バレエ・スクール】

タイラー・ドナテッリ (14歳/アメリカ) *短期

ドルー・ネルソン (15歳/アメリカ)

バトリック・フレネット (16歳/アメリカ)

ハンナ・ビーチ (15歳/アメリカ)

金子穂 (16歳/日本)

左右木茉莉 (11歳/日本) *短期

【サンフランシスコ・バレエ・サマー・インテンシヴ】

田代梢 (15歳/日本)

【ワシントン・バレエ・スクール】

セバスチャン・アダムズ (17歳/アメリカ)

バレエ団入団契約 (4月10日現在)

【バレエ・ウエスト】

ケイトリン・アディソン (22歳/カナダ)

【バレエ・ウエストII】

アンバー・ミラー (18歳/アメリカ)

エミリー・リュウ (17歳/アメリカ)

【シンシナティ・バレエ】

バク・ジョンソク (19歳/アメリカ)

クローディア・ドス・サントス (19歳/アメリカ)

【ヒューストン・バレエII】

ローレン・クリーガン (16歳/アメリカ)

【ミルウォーキー・バレエ】

エイミー・ポッター (アメリカ)

【ナショナル・バレエ・オブ・カナダ (研修生)】

ナヤラ・ロベス (19歳/アメリカ)

【オーランド・バレエ】

ラミン・ペレイラ・ドス・サントス (ブラジル)

【オーランド・バレエII】

マックス・アイザックソン (アメリカ)

ルーシャス・キルスト (アメリカ)

クララ・ソウリー (18歳/アメリカ)

【タルサ・バレエII】

ジェイミー・カレン (18歳/アメリカ)

アンドルー・シルクス (アメリカ)

チェルシー・キーファー (18歳/アメリカ)

ベイリー・ムーン (18歳/アメリカ)

【ワシントン・バレエ】

スン・ヤーリー (18歳/中国)

土田明日香 (18歳/日本)



パウラ・アルベス (ジュニア女性銀賞) Paula Alves © Erin Bains

ンやABTのプリンシパル、コリー・スターンズなど、若手スター・ダンサーを続々と輩出しているだけに、YAGPへの関心は年を追うごとに高まっているのである。

今回シニア部門で「グランプリ」を手にしたのは、今年のローザンヌ・コンクールでもスカラシップ賞を受賞したマヤラ・マグリ・V・ダ・グラカ。最終ラウンドで踊った「黒鳥のヴァリエーション」は所要所に超絶技巧を織り込み観客の喝采を浴びたが、むしろコンテンポラリー審査での演技のほうに魅力的だった。踊りが伸びやかで躍動感がある。

女性金賞の田代梢が披露したのは「パキータ」。精確な踊りで、つま先の動きが美しい。透明感あふれる演技だった。銀賞のハンナ・クーラスは「ラ・バヤデール」でのシャープな踊りが、銅賞のキム・ミンジョンは長い手脚を生かしたポーズの美しさが目を惹いた。「エスメラルダ」を踊った土田明日香は切れのある回転が鮮烈。彼女はダンス・ヨーロッパ芸術賞を受賞した。メアリー・デイ賞を受賞したナヤラ・ロベスも、流麗な踊りで好印象を残した。

男性金賞のハン・ソンウも、今年のローザンヌのスカラシップ賞受賞

者である。長身から繰り出される大きな踊りが特長。

最終ラウンドでもっとも印象に残ったのが、「海賊」のヴァリエーションを踊って銀賞を獲得した福土宙夢。クリーンな動きで回転もバランスも見事に決めた。彼の踊りには観客の心をつかむ不思議な魅力がある。演技終了後も観客の拍手が鳴り止まず、彼だけがもう一度舞台上呼び戻されたことからそのことは明らか。まだ十六歳。成長が楽しみだ。銅賞のジャオ・ジュンジョンは「白鳥の湖」で安定感のある演技を見せた。

ジュニアのヘユース・グランプリを



「ドン・キホーテ」イワン・ワシリーエフ Ivan Vasilev © Nina Alvert

獲得したのは、アラン・ベル。昨年プティ振付『こうもり』を踊ってプリ・コンペティティヴ部門の最高賞であるホープ賞を受賞した彼は、今年ジュニア部門に上がっていきなりグランプリを手にした。イタリアでマチュー・ガニオの父デニス・ガニオに師事しているベルは、今回ニューヨークで一週間ホセ・カレリーニョの指導も仰いだ。ABTのスタジオでレッスンをする彼を見て、小さなダニール・シムキンが現れたと話題になったというが、実際、ベルの踊りには十代の頃のシムキンを思わせるところがある。『ドン・キホーテ』での完璧にコントロールされた回転はまさに

カレリーニョ譲り。満場の喝采を浴びていた。同じくイタリアから出場したジャコモ・ロヴェロが男性金賞。身のこなしがとてつもないシャープな踊り、ブレイク・ケスラーは少年らしい魅力にあふれた『コッペリア』を披露し、銅賞のジュゼッペ・パウシリオは『海賊』のヴァリエーションで完成度の高い演技を見せた。

女性金賞のハンナ・ベティズは『眠れる森の美女』第一幕のヴァリエーション。高い技術に支えられた安定感のある演技だった。銀賞パウラ・アルベスは堂々とした踊り。銅賞のタイラー・ドナテッリは難しいテクニクを盛り込みながらも最後まで乱れず、美しい踊りを披露した。プリ・コンペティティヴ部門では、グレイス・デイヴィソンがホープ賞を受賞した。とてもシャープな踊りで、ポワントも強靱。韓国でミュージカル『ピリー・エリオット』に主演しているイム・ソングが男性金賞を、同じく韓国のユン・ソフが女性金賞を受賞した。

興味深かったのは、最終ラウンドに登場したダンサーがいずれもクリーンかつ丁寧な踊りを心がけており、無理にテクニクを誇示しようとする者が皆無だったこと。毎年YAGPの審査員たちは「テクニクは

—— YAGPの審査員を務めるのは今年が初めてですね。ウエルチ ええ。ぼくが生まれたオーストラリアにも、同じようなコンクールがあったことを思い出します。若いダンサーにとって、舞台上立つ経験を積むことはとても重要だと思う。

—— 日本人ダンサーについてはどんな印象を持ちましたか。ウエルチ ぼくは日本人ダンサーが大好きです。練習熱心で、ロシア・バレエを基礎に訓練されたテクニクも素晴らしい。ヒューストン・バレエには、楠崎なお、シャルルルイ・吉山、飯島望未をはじめ大勢の日本人がいます。彼らは聡明で、とても力強い。昨冬の『くみ割り人形』では、シャルルルイが王子を、望未が雪の女王を踊ったんですよ。

—— 芸術監督として、どんなダンサーを採用したいですか。ウエルチ 我々のカンパニーに合っているかを見ます。質の高いダンサーであることはもちろんですが、多様なスタイルのダンスを学ぶことに意欲的な人。古典、ベジャール、キリアン、フォーサイス、コンテンポラリー、そのすべてを

—— 最後にプロをめざすダンサーにアドバイスをお願いします。ウエルチ オープン・マインドであること。クラシック、コンテンポラリー、ジャズ、ヒップホップ、民族舞踊……できる限りたくさんダンスを学ぶことです。学ぶことに対して貪欲であることが優れたダンサーの秘訣です。

Interview



学ぶことに対して貪欲であってほしい
スタントン・ウエルチ
Stanton Welch ヒューストン・バレエ芸術監督

—— 素晴らしく踊れることが、ヒューストン・バレエの特徴です。ウエルチ ぼくが育ったオーストラリア・バレエとヒューストン・バレエは同じような歴史を持っています。どちらのバレエ団にも三つの大きな軸があります。クラシック、物語バレエ、現代作品の三つです。ペンは『ペール・ギュント』『雪娘』など、たくさん物語バレエを作りました。マクミランもバレエ団と関係が深かったし、ぼく自身も『マリー・アントワネット』をはじめ物語バレエをいくつも振付けています。バレエ団には今年新たな建物が完成したんです。九つのスタジオと二つの劇場があるんですよ。



「Diving into the Lilacs」(ボソホフ振付) ヤンヤン・タン、アンソニー・スボールディング Yuan Yuan Tan and Anthony Spaulding © Siggul / Visual Arts Masters



「トランスバラント」(サフコヴィッチ振付) メラニー・ハムリック、ホセ・カレニョ
Melanie Hamrick and Jose Manuel Carreño © Siggul / Visual Arts Masters



065 「ピエス・ドカジオン」(ゴメス振付) トマス・フォースター、ルビナルド・ブランク
Thomas Forster and Rubinald Pronk © Nina Aloveri



「ドリーブ組曲」ミリアム・ウルド=ブラム、カール・パケット Myriam Ould-Braham and Karl Paquette © Nina Aloveri



ハン・ソンウ (シニア男性金賞) Sung Woo Han © Erin Bains

量より質」と口を揃えて注意してきたが、そのメッセージが教師や生徒たちになんか浸透したようだ。その半面、過剰なまでに超絶技巧を織り込むような個性的な演技が姿を消し、踊りから受ける印象が全体に均一化してしまったような印象も受けた。そのなかで、ジュニア部門で『シヨピニアーナ』を踊ったグレイス・フルトンは見る者に強い印象を残した。難しいテクニクが皆無の振付のなかで、彼女は美しいポール・ド・ブラだけで舞台に詩的な別世界を作り上げてみせたのである。わずか十四歳でこれだけの表現力を身につけていることに驚かされた。

コンクールに先立って、三月六、七



ハンナ・ベティズ (ジュニア女性金賞) Hannah Bettles © Erin Bains

日、グッゲンハイム美術館で「審査員はいかに審査するのか」と題されたイベントが開催された。パフォーマンス・アーツの創作過程を一般に公開するプログラム「ワーク&プロセス」の一環として行われたもので、パレエ・コンクールが取り上げられるのは初めて。昨年の受賞者が実際に観客の前で踊り、その審査過程が明らかされる。審査に当たるのは、ゲイリン・ストック(ロイヤル・バレエ・スクール校長)、フランコ・デ・ヴィータ(A BTジャクリン・ケネディ・オナシス・スクール校長)、アダム・スクールト(パレエ・ウエスト芸術監督)の三名。YAGPの審査員を長年務める人々である。この模様はユーストリームでライブ配信され、現在も見ることができ(<http://www.ustream.tv/recorded/13164978>)。審査員が何に注目し、どこを評価するかがよくわかる映像である。

*

三月二十一日には、授賞式に続き、ガラ公演がシティ・センターで行われた。受賞者の演技が披露される第一部に続き、第二部は世界中から集まったスターによる華やかな競演。パリ・オペラ座のミリアム・ウルドゥ・ブラームとカール・パケットが『ドリーブ組曲』を踊り、ホセ・カレリーニョとメラニー・ハムリックがサフコ・グイッチ振付『トランスパラント』を披露。コンテンポラリーを踊るカレリーニョは新鮮だった。ヤンヤン・タンが踊ったのはボソホフ振付『Divine

Interview



パレエとは詩と同じように創造すること
パトリック・アルマン
Patrick Armand サンフランシスコ・バレエ・スクール 研修プログラム主任

—— YAGPでは世界各国から生徒が参加しています。
アルマン もちろん国ごとに個性があります。個人的にはテクニクにはばかり関心を払っている踊りは見たくありませんね。日本人のダンサーはとも素晴らしかった。テクニクと芸術性の二つが結び合っていて、感動的でした。とくに前田紗江、翠川葉、田代梢の三人の踊りは詩的で芸術的です。
—— アルマンさんは近年は小林紀子バレエ・シアターでの舞台が印象深かったですか。
アルマン あの『インヴェイティション』が私の最後の舞台。王子や善人の役ばかり踊っていた私にとつて、ああいう役柄は最初で最後の経験でした。(笑)ダンサーを引退した後ミラノ・スカラ座で四年間バレエ・マスターをし、いまはサンフランシスコ・バレエ・スクールで研修プログラムを担当しています。
—— 研修プログラムについて具体的に教えてください。
アルマン 学校からプロへの橋渡しですね。十七歳から十九歳の生徒が対象で、彼らがサンフランシスコ・バレエや他のカンパニーに入れるように手助けするのが私の仕事です。期間は二年間。生徒は全部で十二人。男性六人、女性六人です。サンフランシスコ・バレエの公演に参加することもあれば、彼らだけで公演を行うこともありま。ただ私たちの目的は公演活動ではなく、彼らをバレエ団に入団させることです。学校で過保護に育てられるせいか、バレエ団に入つてすべてを自分でやらなければならなくなったり、自分を見失ったりしてしまふダンサーが多い。ですから、その間をうまくつないで、バレエ団に入るための準備をしてあげるのが私の役目です。
—— フロをめざす生徒たちにアドバイスをお願いします。
アルマン 誰かに強制されるのではなく、自分のなかから生まれてくるものが重要です。それから、テクニクだけに集中しないこと。もちろんテクニクは大事ですが、回数が問題ではない。精確であることが真のダンスを生むのです。そして、音楽性。ダンサーは舞台では言葉が使えません。動きだけで伝えなくてはいけないのです。パレエとは表現です。創造することなのです。詩と同じように。



ジャオ・ジュンジョン (シニア男性銅賞)
Junxiong Zhao © Siggul / Visual Arts Masters



ハンナ・クーラス (シニア女性銀賞)
Hannah Kulas © Siggul / Visual Arts Masters



グレイス・デイヴィソン (プリ・コンペティティブ部門ホープ賞)
Grace Davidson © Siggul/Visual Arts Masters

into the Lilacs。美しい脚のライン、繊細な腕の動きから高貴な香り立ち上がる。

ABTのマルセロ・ゴメスは今回コリオグラファーとして登場。『アミ』と『ピエス・ドカジオン』の二作品を発表した。後者はショパンのピアノ曲に乗せてマツチヨな男性二人が踊る。振付は二人のつま先の美しさと動きの柔らかさを強調したもので、外見とのミスマッチが面白い。

トリを飾ったのは、キューバのヴィエングセイ・ヴァルデスとポリシヨイのイワン・ワシリエフによる『ドン・キホーテ』。二人はこれが初共演。ヴァルデスが驚異のバランスを見せれば、ワシリエフが負けじとばかりに派手な跳躍を炸裂させる。打ち上げ花火のような技の応酬に劇場は興奮の増場と化した。

ガラ公演から一夜明けた二十三日

*

同じシティ・センターのスタジオで「ジョブ・フェア」が行われた。YAGPが今年から始めた、ダンサーの就職を支援する試み。世界各地のバレエ団の芸術監督が一堂に会するオーディション・クラスである。この日、アメリカを中心に十五カンパニーの芸術監督やバレエ・マスタが集まった。過去にYAGPのニューヨーク・ファイナルに出場した者は誰もがこのオーディションに参加できる。今回は百七十六名が参加。

男女に分かれてクラシックとコンテンポラリーのクラスが行われる間にダンサーはほとんど踊りにかけられていく。日本人も数多く参加していたが、クラシックではクリーンな踊りで光っていたにもかかわらず、コンテンポラリーになったとたん精彩を欠き、最終選考までほとんど残れなかったのは残念だった。これは日本人だけでなく、韓国や中国のダンサーも同じ。コンテンポラリーの経験がないために、簡単なムーヴメントでも戸惑いの表情が見え隠れしてしまうのである。欧米では古典と現代作品のレパートリーの比重が同等であるカンパニーが最近多い。その是非はともかく、彼らが最初からクラシックとコンテンポラリーの両方を踊れるダンサーを求めていることは確かであり、アジアのダンサーも今後は留意する必要があるのかもしれない。

来年のYAGPは四月にニューヨークで開催される予定である。

Interview



コンテンポラリーはクラシックとつながっている
ジェイソン・ビーチー
Jason Beechey バルツカ・シューレ・ドレスタン校長

—— 今年のYAGPの印象は？
ビーチー とてもよかったです。才能のある生徒が大勢いました。去年も参加した子どもたちの成長が見られるのもうれしい。

—— バルツカ・シューレについて教えてください。
ビーチー 私たちの学校はクラシックとコンテンポラリーの教師が同じ人数います。コンテンポラリーにもオープンで、創造性のある生徒を求めています。そこが他のバレエ学校との大きな違いだと思います。学校とドレスタン・バレエとの関係も密接で、多くの生徒にバレエ団の舞台に立つ機会が与えられます。YAGPからは毎年五、六人の生徒を受け入れており、いま日本人は四人います。

—— コンテンポラリーが苦手な日本人も多いですが。
ビーチー コンテンポラリーの訓練をあまり受けていないだけだと思いますよ。個性や動きの質から可能性を感じられる生徒を選ぶようにしています。日本から短期間ドレスタンに来ることで、私たちの学校が自分に合うか判断することもできます。

—— ビーチーさんご自身の経歴も伺えますか。
ビーチー 私はカナダ出身です。カナダ・ナショナル・バレエ・スクール、SABなどで学び、ロンドン・シティ・バレエで踊りました。それからベルギーで、フレデリック・フラマン率いるシャルロワ・ダンスに加わった。ベルギーでは教育プログラムの構成も担当していました。だから、ダンサーから教師への転身は難しくありませんでした。

—— ビーチーさんの経歴がそのまま現在の指導スタイルにつながっているんですね。
ビーチー その通りです。私のバレエ・クラスは、コンテンポラリーの動きやダイナミズムの影響を受けています。空間をきちんと使いこなせるダンサーが私は好きなのです。コンテンポラリーはバレエと対立するようには見えませんが、いまは両者をどうつなげていくか、どう学びあえるかが興味深いのだと思います。

—— YAGPに参加した生徒たちにアドバイスすることは？
ビーチー 自分自身を出すことを怖れないで。そして、音楽を感じて。何かを伝えようとするのが大切なことです。